

稲城市議会 会派

起風会

き

ふう

かい

地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」 + 実現可能な解決策を提案し、実行に奔走する「現実主義」

病に戦、揺れる世界での地方政治は。

世界的に長引くコロナ禍に重ねて、ロシアによるウクライナへの侵攻…。オカルトや陰謀論等ではなく、世界は混迷を極めていると実感しています。特にウクライナは日本から遠く離れています。ロシアは択捉海峡を隔て僅か40kmの隣国。強い懸念を抱きます。オミクロン株の低重症化率を背景に2類相当↓5類への変更決定がされる事やイベントワーク割等の経済施策の実施と並行し、ワ

地域への熱い想いを引き継いでいます！

令和三年度はコロナとの闘いに始まり、そして未だにコロナ終息の出口が見えない、厳しい一年間でした。マンション管理業務のICT化によって密を避け業務効率化を目指す取り組み、おうち時間を愉しめるように目の前の緑を愉しむ計画づくり、ウィズコロナであっても地域を盛り上げるイベント(マルシェ)を開催するために奔走、など、今できることは何か、常に自問自答しながら、走

誠

クチン接種を司る福祉文教委員会委員長としてはその進捗と今後の経口薬の普及等を注視しております。また、今回の市議会では国会とは違って全会一致での「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」を採択出来たのは大きな前進と重く受け止めています。平和を愛する稲城市民として何かせねばと、私自身も仲間と市内駅頭で募金活動を実施。老若男女問わず多くのご寄付をいただきましたこと、この場を借りて心から感謝申し上げます。今回の件は地方政治とし

中

り続けた一年間でした。そして今年、平成十七年に私が自治会役員となつてから約十六年間、一緒に地域のために汗を流してきた尊敬する先輩とのお別れの年でもありました。平成十七年当時、まちびらきから僅か六年で、地元小中のPTAも市P連に加盟しておらず、若葉台夏祭りや青少年、自治会連絡会といった組織も、まだ十分に機能していないか、設立前の状況でした。まちびらき間もない「新しいまち」に、地域活動の基礎となる組織を一から作り上げる、

て何をすべきか、改めて熟考する機会となりました。世界が平和で、日本国が自立し、その中の稲城という街で市民が安心安全に暮らしています。しかし、憲法前文に謳われた「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」という第9条の大前提が、悪意には通じないと白日の下に晒されました。

今夏は参議院選挙があります。市民一人一人が民主主義国民として適切な判断をする公正な選挙、皆様と共に草の根で活動します！

そのような重要なプロジェクトに一緒に取り組ませていただいたことは、私自身のその後の運命を変える貴重な経験となりました。ともに歩む先輩がいなくなった一年間。常に不安と孤独が隣り合わせの状況でしたが、なんとか頑張ったのは、「地域を良くしたい」というその先輩の熱い想いを、しっかりと受け止め、次の世代に引き継いでいきたい、と考えているからです。

これから今自分でできることに真摯に取り組んでいきたいと思えます。



高橋市長、鈴木議員とウクライナ大使館との交流をきっかけに始まった募金に協力。東京2020前にエッセンシャルワーカー消防団としてワクチン接種。

昨年秋は上写真のコルスンスキー駐日大使はじめ、ウクライナ大使館が総出で来稲！農業を通じ親交を温めました。今や隔世の感を禁じ得ない状況に…

◆議員番号5番、中田 中 なかたあた(52歳)

都立科学技術大(現 都立大)卒→日本HP、日本IBM。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稲城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稲城市教育委員、平成23年に稲城市議会議員初当選、現在3期目。昭和44年6月生まれB型。ICT活用の推進、地域の防災力の強化、にぎわい創出による地域活性化を自ら実践しつつ提案中！

【役職・資格等】・稲城市議会議員(3期)・同 総務委員会委員・稲城市土地開発公社 評議員・稲城市消防団第八分団 班長・青少年育成若葉台地区委員会 顧問・若葉台夏祭り実行委員・若葉台防災協議会 事務局・若葉台ワルツの杜自主防災組織 本部長・若葉台ワルツの杜 防火管理者・若葉台ワルツの杜自治会 副会長・日本防災士機構 認定防災士、他



www.ataru-nakata.com

◆議員番号6番、鈴木 誠 すずきまこと(39歳)

昭和57年山形県生まれ。平尾はなぶさ幼稚園～法政大学卒→現(株)リクルート入社、住宅情報『SUUMO』プロジェクト担当。稲城市議3期目で総務・福祉文教・建設環境の3常任委員会全ての委員長を歴任。妻子(娘3人)と親世帯の6人暮らし。

【役職・資格等】・稲城市議会議員(現職男性議員最年少)・同 福祉文教委員会委員長・稲城市中墓苑組合議会副議長・稲城市青年会議所第41代理事長(わんぱく相撲行司/かえっこパザール オフショア)・稲城市消防団第六分団分団長・稲城市バドミントン連盟男子代表選手・稲城まちかど楽友協会理事・稲城楽しく第九を歌う演奏会実行委員長・共生型こども食堂クッチイナいなぎ理事・自転車のまち稲城共同代表・平尾宅地分譲住宅自治会事務局長・平尾杉山神社奉賛会理事・林英臣政経塾関東支部副支部長・日本防災士機構認定防災士・日本赤十字救急法救急員・関東総合通信局陸上特殊無線技士、他



www.inagi.info

起風会に聞く

《インタビュー：守屋亮》

「当初予算」その年の市政方針とのことです。起風会ではどんな点に注目して審議を行ったのでしょうか？」

鈴木：それぞれの事業について、目的や期待する効果、予算の積算根拠を確認することが基本ですが、僅か2名の弱小会派かつ私は分科会主査で質問が出来ないため、各論に捉われすぎず、総合的な大きな視点で市の方向性を確認しました。



総括質疑
鈴木誠議員
6番 起風会

中田：今回は①健全財政の維持、②アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた行政の在り方、③シビックプライドに対する支援の在り方の3つに注目しました。

昨年財政アラート状態を宣言したものの、市税収入はそれほど悪化せず順調に推移し、今年度も市税収入増。また、土地区画整理事業や住宅販売も順調に推移していることから、固定資産税収入も増となっており、市の独自財源については申し分ない状況です。

鈴木：一昨年で第四次が終了し、昨年から稲城市第五次長期総合計画が始まりましたが、それに付随する計画の策定や大きな建設事業も設計段階である等、借金である市債発行がかなり少なく抑えられています。ニュータウン地区の小中学校の買取費返済が進み公債費が約三千万円減少するなど、支出も抑制気味。高齢化により民生費の負担は膨らむ傾向なので引き続き注意を払う必要はありますが、今年度については概ね妥当な予算編成になっていると判断しました。

低重症率とはいえオミクロン株亜種BA.2への置換傾向に油断は出来ません。市民の命と健康を守ることが最重要課題！ですが、それと同時に経済とコミュニティの維持発展も必要です。経済では、巣籠りも必要により小売業等が好調な一方、飲食業やエンターテインメント界などは厳しい状況が続きました。自治会などの地域活動も行事の中止延期や縮小により、連綿とした実績や関係性の維持が困難になっています。本当に困っている方々を把握し、適切に行政支援していくことがこれからの、ウィズコロナ・アフターコロナの世の中に求められることだと考えています。

中田：行政サービスの更なる効率化や、非接触・非対面によるサービス提供等、自治体業務のデジタル革命DXを実現するには、ICTの活用を積極的に推進することは必然の流れです。そのため、IoT電球や見守りセンサーを活用した高齢者見守り、教育委員・農業委員のタブレット端末活用、AI・OCR・RPAの試行導入等、積極的に進めるべきと考えています。

「持つ市民への支援の在り方」はどうでしょうか？」

中田：一般質問でも取り上げましたが、「シビックプライドは育てるモノではなく、それぞれの市民が既に持っているモノ」だと市は考えています。あれこれを出したり手を出したりしなくても場を設ければそれで十分である、と。しかし新たな市民や世代交代が進む中、地域の現場を知る一人として少し物足りない。

吉方公園をインクルーシブパークとして改修整備するためのワークショップ開催には大賛成ですが、声の大きな人の意見に流されたり、高い理想を目指しすぎて実現性の低い案になったり、逆に無難な当たり障りのない案になったりという一抹の懸念もあります。ワークショップ運営に市が確りと関わるのが重要。また、小中学校で導入されるコミュニティ・スクール



一般質問
中田中議員
5番 起風会

の取組みも、市がこれまで実施してきた地域教育懇談会やESD教育の取組みとどう整合させていくのか、これまで関わってきた方々の努力を尊重する配慮も含め、市教委に求めています。

「以上の三点以外に、気になった点はありませんか？」

鈴木：稲城市第五次長期総合計画策定でもありましたが、稲城市の良いところは「ほどよく都会、ほどよく田舎」という点です。しかし、これは昔ながらのやり方をそのまま残すことを指すのではなく、今の時代や若い世代の人たちにあつたやり方に合わせていく柔軟性、懐の深さを指すのだと考えます。核家族化・共稼ぎ世帯の増加が進み、SNS全盛の現在では、コロナ禍影響もあります。人間関係の希薄化やコミュニケーション存続の危機が課題となつています。そのような状況下では、かつてのような濃密な人間関係ではなくとも、ほどよい距離感を保ちつつ、役割を分担し、無理のない範囲で関わられる、そんな地域活動のニーズが高まってきているのではないかと考察している所です。

依拠した団体では、全体を取り仕切る方が不在のために、何も決められなかったり、逆に炎上してしまったり、といったデメリットもありました。これまでの伝統を活かしつつ、次の世代にも持続可能な活動内容にしていけるように、若い世代・新しい参加者の意見を取り入れつつも、全体のバランスを取っていく、といった市の姿勢が重要になってくると思います。

「最後に、疫病に戦争と混迷極まる現状に対してのご決意を」

鈴木：紙面表側でも申し上げましたが、やはり「常在戦場」の心構えが政治家には問われていると思います。常に非常時であるという緊張感を持って、地域における政治的オピニオンリーダーとして世論の下地を作る事も地方議員の責務だと改めて認識し、全力を尽くす所存です。

中田：地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」を掲げている我々起風会として、本気の行動を続けていきたいと思えます。鈴木君は本気のダイエットで随分痩せたようなので、そこも見習って（笑）

鈴木：当者比18kg、人間ドックオールA評価。強靱な肉体を以って皆様の信託に応えます！